

天白区将来ビジョン（案）に対する意見の内容及び区の考え方

天白区将来ビジョンを策定するに当たり、案に対する貴重なご意見をいただきありがとうございました。いただきましたご意見の概要と、それに対する区の考え方を公表します。

1 実施期間及び実施場所

令和2年2月3日（月）～2月28日（金）

天白区役所ウェブサイト、区内コミュニティーセンター及び天白区役所

2 提出状況

意見提出者数 5名

意見件数 7件

3 主なご意見と区の考え方

テーマ	施策1 防災について
ご意見 (要旨)	頻発する豪雨や大型化した台風により、各地で甚大な被害が発生している。当区も天白川の改修や雨水対策が進められているが、①現在は幾らまでの時間雨量なら許容できるのか。②将来的にはどの程度の雨量を想定して対策に取り組んでいるか等、天白区としての施策を具体的な数値で示して頂きたい。①は避難行動に対する説得力にもなる。
区の 考え方	天白川を管理する愛知県尾張建設事務所及び雨水対策を所管する本市上下水道局において、河川改修や総合排水計画に基づいた都市基盤の整備に取り組んでおります。詳細については、欄外をご覧ください。 なお、区においては、「名古屋市地域防災計画」に定める「避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告発令基準」に基づき、天白川をはじめ河川の水位等が基準値（天白川 5.20m、植田川 3.70m に達し、以降 60 分予想雨量が 30 mm 超）を超過した場合は、原則として区長の要請に基づき市長が避難勧告、避難指示を出すなど、適切な避難行動を促がしてまいります。

・愛知県尾張建設事務所からの回答

天白川の整備につきましては、平成 12 年の東海豪雨では年間総雨量の 1/3 に相当

する豪雨（総雨量 556mm（植田川観測所））により、天白川の水位が上昇し、支川の郷下川などの水位が上昇し、川から洪水が溢れたことから、洪水時の水位を下げるため、平成 12 年度から 16 年度で河口付近から野中橋付近までの約 7.6 km 区間について、最大 3m の川底の掘り下げや支障となる橋梁の架け替えを行いました。現在は、野中橋付近から植田川との合流点までの間、約 2.3 km を当面の整備区間と位置づけ、引き続き改修工事を進めており、昨年度工事で天白緑地橋下流 70m 付近までの整備が完了しております。

現在行っている河川整備の計画規模は、天白川河口から植田川合流点までは東海豪雨相当（時間最大雨量 77mm（植田川観測所））、天白川の植田川合流点から上流は年超過確率 1/10 の規模の降雨（24 時間雨量 205mm）による洪水を、安全に流下させることを目標としております。

なお、天白緑地橋下流 70m 付近から上流の未整備区間が、いくらまでの時間雨量を許容できるかの具体的な数字は出ておりませんが、24 時間雨量 243mm（年超過確率 1/20 相当）を記録した平成 23 年 9 月の台風 15 号洪水でも安全に流下したため、少なくとも年超過確率 1/20 程度の流下能力はあるものと考えています。

県としましては、今後も、河川改修等のハード対策を引き続き推進してまいります。昨年の台風 19 号による関東・東北豪雨の様な、総雨量 1,000mm を超過する豪雨も想定されるため、その際には、早めに避難することが重要と考えております。愛知県が令和元年 8 月に公表した「二級河川天白川洪水浸水想定区域（想定最大規模等 1/1000 規模の降雨）」を基に名古屋市が作成を進めているハザードマップ等をご活用いただきますようお願いいたします。

・本市上下水道局からの回答

現在、本市が管理する河川、下水道等においては、1 時間 50mm の降雨に対応する施設整備はおおむね完了しております。

今後は、令和元年度に改定した名古屋市総合排水計画に基づき、河川・下水道等が連携し、効率的かつ効果的な整備を実施し、全市域を対象に 1 時間 63mm の降雨に対して、浸水被害をおおむね解消するとともに、1 時間約 100mm の降雨に対して、床上浸水をおおむね解消することを目指しています。

また、当局公式ウェブサイトにも名古屋市総合排水計画を公開しております。下記に URL を添付します。

<https://www.water.city.nagoya.jp/category/shinsui/142161.html>

テーマ	施策6 高齢者施策について
ご意見 (要旨)	高齢者にとって「生きがい」は大切である。ビジョンの施策6の中で記載されている「生きがい」の表記を強調できないか。
区の 考え方	「生きがい」というフレーズを強調するため、「人生に活力を与える」という修飾語を説明に加えます。

テーマ	施策6 高齢者の健康増進について
ご意見 (要旨)	高齢者が日常外出して健康増進できる機会が少ないのは、楽しく健康増進できる設備が地域に少ないためではないか。各学区または町内の公園や遊歩道に健康の増進に役立つ運動器具を数種類設置すれば高齢者だけでなく誰にでも役立つ。
区の 考え方	公園等の健康増進器具の設置にあたっては、器具の設置に十分な広さのある大きな公園において、大規模な改修時期が来る際に検討していく方針です。（土木事務所からの回答） また、健康長寿の実現のためには、高齢者自身が健康づくりに取り組むことが重要であることから、区としてもラジオ体操やウォーキングなどを行う地域の自主的な健康づくり活動を支援し、多くの方にご参加いただいております。今後とも、これらの健康長寿につながる取り組みを進めてまいります。

テーマ	施策7 文化・スポーツについて
ご意見 (要旨)	文化やスポーツにおいてアピールできるものが乏しい（無い）。ビジョンの中に、文化・スポーツ面で「天白区だからこそ出来るもの」を組み込んでいかないといつまで経っても変わらない。
区の 考え方	天白区の独自の魅力を発信する事業として、「天白の「農」を楽しむ講座」や「自然観察会」、「史跡散策ウォーキング」などを開催しているほか、文化事業としては「てんぱく音楽祭」や「美術展」、「華道展」を、スポーツ事業としては「てんぱく親

	子スポーツフェスタ」や「子ども向け運動教室」、また「グラウンド・ゴルフ」、「レクインディアカ」、「レクバレー」など種目別の大会などを開催しています。 今後とも、関係団体等との協働により、より多くの区民のみなさまに親しんでいただけるよう、広報及び内容の充実に努めてまいります。
--	---

テーマ	施策７ 天白区の魅力発信について
ご意見 (要旨)	近隣市と比べると、天白区は人口の割に地域を盛り上げるイベントや行事が乏しく、近隣の地域や外国から来てもらう取り組みが皆無に感じられる。「魅力発信」というが、抽象的すぎて区民には見えない。「八事五寸にんじん」「くりあじかぼちゃ」を利用したＢ級グルメをこの地域の飲食店街とタイアップで開発してＰＲしたり、区内の公園で定期的にマルシェ、バザー、コンサート、野外映画、アートを設置して野外美術館など色々面白いことをやることは可能だと思う。そういう魅力ＵＰの窓口を周知して、区も積極的に協賛や支援をして盛り上げるべきであると思う。 気持ちのあり方として、天白区役所の職員の方々は名古屋市として考えるのではなく、天白区として独立した人口 16 万都市の自治体を受け持っているという認識で、魅力アップやまちづくりを進めることが必要と感じる。
区の 考え方	天白区は住宅地としての性格が強い地域であり、区としては、区内にお住まいの方や在勤・在学の方を対象に、「天白の「農」を楽しむ講座」や、「自然観察会」、「史跡散策ウォーキング」などの催しを行い、区の自然や歴史、文化等の魅力を発信することで、区への愛着を高めていただきたいと考えております。 今後も、区民のみなさまのご意見をいただきながら、魅力に満ちた愛着のもてるまちをめざしてまいります。

テーマ	施策７・８ 誰もが参画できる地域について
ご意見 (要旨)	外国人住民について、労働や福祉・教育など、様々な分野での困難を気軽に相談できる窓口があれば、外国人視点での天白区の魅力発見や外国人の区民まつりへの参加につながり、地域がさらに多様化に適応できるようになるのではないかと。
区の 考え方	天白区は 16 区の中で 3 番目に外国人人口の少ない区であり、現在のところ区に専門の相談窓口を設ける予定はありませんが、外国人の方が区役所の窓口にご相談にいらした場合には、適切な部署や相談機関にお繋ぎしています。 今後、外国人住民の増加が想定されるなか、他区の状況も踏まえつつ、外国人の方も安心して暮らせるまちづくりやサービスの向上を検討してまいります。

テーマ	施策８ 町内会加入率について
ご意見 (要旨)	町内会加入率の減少率は市も区もほぼ同じである。また天白区でも原学区は更に数%低い加入率であり、子ども会に至っては30%程度の加入率であるが、加入率が低い理由の一つが役員を押し付けられたくないから、ということがある。仕組みを見直し、「役員報酬制」にしてはどうか。そうすれば役員のなり手多数で、結果的に加入率もアップするのではないかと。
区の 考え方	町内会・自治会は地域住民が自主的につくりあげる住民自治組織で、会の目的や活動内容、役員の選び方、会費などは規約として定められていることが一般的です。役員報酬制にするか否かについては、それぞれの町内会・自治会が独自に決定すべきものと考えております。 過去の災害時に近所付き合いのあった地域ほど救助が進み復旧も早かったと言われているなど、日頃からの顔の見える関係づくりがより住みやすいまちづくりにつながることから、区としては、町内会加入者が増えるよう地域の取組みを支援してまいります。